

文武躍道

改元となり2年目、平成24年度来県高校総体9連覇の本校は令和にも勢いそのままに10、更に11連覇と運動系部活動の歴史に記録を刻むと確信する。一方、文化系部活動も華やかであり、県高等学校文化連盟諸活動を先頭に立ち牽引している。さらに、進路実績向上も目覚ましく、特に前年度国公立大学47名合格をはじめとする実績は「飛躍のコザ高」を印象づけ、「文武躍動」の「今」から「未来」への「道」が鮮明に展望される。

「武」は本校部活動等（全運動系・文化系の生徒活動）を通しての「精神と肉体の鍛錬」が目的で、その成果は県高校総体9連覇や県高文連各大会での活躍に見ることができる。一方「文」は授業をはじめとする様々な学習活動の奮闘努力による「叡智の錬磨」を目指すものであり、近年向上する現役卒業生進路実績はその「実」が裏付けられつつあるものとする。よって「文武」における本校の「躍動」が自ずと実感される。

ただこの春、世界は「行き過ぎたグローバリズム」に混迷を極め、弊害の痛感から「今だけ、金だけ、自分だけ」ではない社会を強く希求している。この歴史のパラダイムシフトにあたり、本校は「ICT機器活用によるアダプティブラーニング推奨と授業充実・情報共有」による「文武躍動」学校活性化を図る。幸運にも令和2年度は、沖縄県教育委員会より「空手道指導推進校」「学力向上推進（カリキュラムマネジメント）モデル校」として研究指定を受けており、さらには「進学重点拠点校」と「BYODに係る検証協力校」ともなっており、益々の飛躍が期待される。この充実の教育環境の中、あなたの「夢」は何ですか。

本校教育目標「公共に志を高くて夢を描き、その実現のため自ら意欲をもって学ぶ知・徳・体の調和のとれた人間育成」は、コザ高生1人ひとりが「今」に生きて「文」「武」に躍動する教育環境そのもので、「文武躍道」には希望進路実現に挑む「轍」が刻まれることとなる。そのあなたの「轍」の刻みを意識させ、「未来への灯」となるのが『進路の手引き』である。高校卒業後の「進路」と対峙し、真剣に「今」を見つめる時、是非とも頁をめくって頂きたい。そして、様々な進路情報に触発され、将来のあなたが目標とする職業への道筋をより具体的に描いて欲しい。

結びに、幕末の日本が世界と対等に渡りあうために力を尽くした勝海舟の言葉をコザ高生の心に届けます。『人はみな、さまざまに長ずるところ、信ずるところを行えばよいのさ。社会は大きいからあらゆるものを包容して毫も不都合はない。生業に貴賤はないけど、生き方に貴賤があるねえ。』

令和2年4月
沖縄県立コザ高等学校
第27代校長 東 盛 敬